



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社

コード番号 9014 URL <http://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 孝悦

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計資金担当課長 (氏名) 藤田 正樹 TEL 047-389-1125

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,931	△0.0	952	△5.7	938	△0.4	610	6.0
26年3月期第1四半期	4,932	0.3	1,009	△9.5	942	△11.2	575	△11.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 938百万円 (119.2%) 26年3月期第1四半期 428百万円 (△40.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	11.12	—
26年3月期第1四半期	10.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	68,980	30,746	44.6
26年3月期	69,333	30,004	43.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 30,746百万円 26年3月期 30,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,856	△0.5	1,721	△2.2	1,624	△1.8	921	△7.8	16.77
通期	19,755	0.3	2,953	△3.4	2,971	△3.0	1,746	△2.5	31.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	55,116,142株	26年3月期	55,116,142株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	206,488株	26年3月期	205,690株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	54,909,920株	26年3月期1Q	54,936,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行の各種政策を背景に、景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、海外景気の下振れ懸念や消費増税に係る影響など、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、営業収益は4,931百万円(前年同期比0.0%減 1百万円)、営業利益は952百万円(前年同期比5.7%減 57百万円)、経常利益は938百万円(前年同期比0.4%減 3百万円)、四半期純利益は610百万円(前年同期比6.0%増 34百万円)となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、五香駅上りホームの嵩上げ工事を行いましたほか、松戸駅のエレベーター設置工事をすすめました。また、新たに制定した「シンボルマーク」・「コーポレートカラー」について6月1日より使用を開始し、駅名看板や電車車両への展開を順次はじめました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、初富駅付近下り線の仮線切り替え工事を実施しましたほか、同駅下り線を仮ホームに移転いたしました。今後も引き続き早期完成を目指し工事をすすめてまいります。

営業面につきましては、沿線健康ハイキングを実施しましたのはじめ、新京成ファミリーコンサートの開催、千葉ロッテマリーンズとのコラボレーションによるラッピング電車の運行を行いましたほか、行楽施設の前売券の発売を行い、旅客誘致並びに増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を5両実施いたしました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収に向けた継続施策として特殊割引定期券を各種発売いたしました。また、貸切輸送において、送迎輸送を受注し、増収対策に努めました。

なお、船橋新京成バス株式会社と習志野新京成バス株式会社は、競争力・収益力強化の面から、4月16日付で船橋新京成バス株式会社を存続会社とする吸収合併を行いました。

以上の結果、営業収益は3,994百万円(前年同期比0.6%減 23百万円)、営業利益は550百万円(前年同期比7.0%減 41百万円)となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的にを行い物件稼働率の向上に努めましたほか、賃貸施設の保全工事を実施いたしました。

新規賃貸施設として、(仮称)薬園台駅前ビルの建設工事に着手し、1月の竣工を目指し工事をすすめております。

以上の結果、営業収益は796百万円(前年同期比2.0%増 15百万円)、営業利益は396百万円(前年同期比1.8%減 7百万円)となりました。

その他

その他(コンビニ事業等)の営業収益は180百万円(前年同期比3.7%増 6百万円)、営業損失は0百万円(前年同期は営業利益7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券の増加等がありましたものの、減価償却による有形固定資産の減少、売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ353百万円(前期比0.5%減)減少し、68,980百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,094百万円(前期比2.8%減)減少し、38,234百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ741百万円(前期比2.5%増)増加し、30,746百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績は概ね当初の計画どおり推移しており、平成26年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、平成26年4月16日付で当社の連結子会社である習志野新京成バス株式会社は、当社の連結子会社である船橋新京成バス株式会社に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間を基に算定した単一の割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が92,117千円増加し、利益剰余金が59,526千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,565,647	4,347,067
売掛金	1,289,909	994,318
商品及び製品	24,684	7,920
分譲土地建物	2,877,179	2,877,179
原材料及び貯蔵品	322,886	344,952
繰延税金資産	266,656	373,120
その他	171,758	173,533
流動資産合計	9,518,721	9,118,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,597,998	20,413,102
機械装置及び運搬具(純額)	5,358,329	5,170,480
土地	9,325,934	9,325,934
建設仮勘定	17,634,792	17,671,655
その他(純額)	533,904	495,230
有形固定資産合計	53,450,959	53,076,403
無形固定資産		
その他	381,267	386,366
無形固定資産合計	381,267	386,366
投資その他の資産		
投資有価証券	5,677,535	6,108,771
繰延税金資産	98,003	102,031
退職給付に係る資産	39,897	16,300
その他	167,349	172,346
投資その他の資産合計	5,982,785	6,399,450
固定資産合計	59,815,013	59,862,220
資産合計	69,333,734	68,980,312
負債の部		
流動負債		
買掛金	846,145	646,946
短期借入金	3,713,530	3,615,730
未払金	4,455,724	489,565
未払法人税等	651,765	442,519
前受金	12,175,200	15,617,921
賞与引当金	437,683	725,388
その他	2,898,362	2,732,023
流動負債合計	25,178,411	24,270,094
固定負債		
長期借入金	8,717,120	8,322,700
繰延税金負債	116,547	247,079
退職給付に係る負債	2,887,131	2,965,335
その他	2,429,881	2,429,048
固定負債合計	14,150,680	13,964,163
負債合計	39,329,092	38,234,258

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,519	4,774,519
利益剰余金	17,422,146	17,835,794
自己株式	△76,100	△76,396
株主資本合計	28,056,505	28,469,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,145,356	2,451,503
退職給付に係る調整累計額	△197,220	△175,306
その他の包括利益累計額合計	1,948,136	2,276,196
純資産合計	30,004,641	30,746,054
負債純資産合計	69,333,734	68,980,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	4,932,671	4,931,404
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	3,602,081	3,666,156
販売費及び一般管理費	320,928	312,764
営業費合計	3,923,009	3,978,920
営業利益	1,009,662	952,484
営業外収益		
受取利息	18	21
受取配当金	28,958	35,596
その他	8,881	9,348
営業外収益合計	37,858	44,965
営業外費用		
支払利息	65,937	56,121
持分法による投資損失	38,491	2,359
その他	443	192
営業外費用合計	104,872	58,673
経常利益	942,648	938,776
特別利益		
工事負担金等受入額	57,336	8,701
固定資産売却益	9,863	—
特別利益合計	67,200	8,701
特別損失		
固定資産圧縮損	57,095	8,465
特別損失合計	57,095	8,465
税金等調整前四半期純利益	952,753	939,013
法人税、住民税及び事業税	520,722	449,371
法人税等調整額	△143,643	△120,808
法人税等合計	377,078	328,562
少数株主損益調整前四半期純利益	575,675	610,450
四半期純利益	575,675	610,450

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	575,675	610,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147,737	302,963
退職給付に係る調整額	—	19,219
持分法適用会社に対する持分相当額	133	5,877
その他の包括利益合計	△147,603	328,060
四半期包括利益	428,071	938,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,071	938,511
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	4,013,608	770,990	4,784,599	148,072	4,932,671	—	4,932,671
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	4,742	9,476	14,219	25,578	39,797	△39,797	—
計	4,018,351	780,466	4,798,818	173,651	4,972,469	△39,797	4,932,671
セグメント利益	592,259	403,260	995,519	7,539	1,003,059	6,603	1,009,662

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であり
ます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	3,989,925	783,167	4,773,093	158,311	4,931,404	—	4,931,404
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	4,720	12,984	17,704	21,849	39,554	△39,554	—
計	3,994,646	796,151	4,790,798	180,160	4,970,958	△39,554	4,931,404
セグメント利益 又は損失(△)	550,621	396,068	946,690	△996	945,693	6,790	952,484

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行って
おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。